

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	クライストチャーチ語学研修
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15000 円	
図書費・学用品費	1000 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	2500 円	(研修先まで 45 分)
教養娯楽費	30000 円	
被服費	0 円	
雑費	1000 円	
その他	10000 円	例:お土産
合計	62500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
帽子は持って行って助かった。水筒をもっていけばよかった

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターネットや行ったことのある人に話を聞いた
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
最初はずななかったがいろいろな方法を試した結果接続できた

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 日本のものが食べなくなるかもしれないので簡単に作れるレトルト食品などをもっていくと良い

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点としては改めて基礎から英語を学ぶことができたことで、良くなかった点としては学校に日本人が多かったためどうしても日本人と仲良くなって日本語でしゃべってしまった点。
2)課外プログラムについて 自分だけではできないような体験をすることができてとても良かった
3)現地での生活に関すること 思っていたよりも寒暖差が大きく調節のできるような服をもっていけばよかったと思った

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 同じように語学学校に通っている人たちと交流することができた
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 スポーツをしたり、放課後にクラブのようなものが開かれていてそこで交流した

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 食文化が日本とは違って興味深かった

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

旅行であれば経験できないような現地の暮らしを感じることができただけでなく、他の国の文化をじかに学ぶことができとても良い経験になりました。訪れた国の人たちや文化を学んだだけではなく語学学校にいた他の国の人たちやなどからも多くのことを知ることができました。今回の経験を通じてもっといろいろな国の人たちと会話できるようになるためにも英語の勉強をもっと頑張りたいと思いました。今回出会った人たちが暮らしている国にも行ってみたいと思うようになり様々な国に興味を持つきっかけとなりました。行きたいけれどどうするか悩んでいるという人がいれば短期でも良いので留学に行ってみることをお勧めしたいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	14000 円	
図書費・学用品費	3000 円	
携帯・インターネット費	9000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 25 分)徒歩で学校行っていたため
教養娯楽費	30000 円	
被服費	30000 円	
雑費	4000 円	
その他	0 円	例:
合計	90000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
VISA
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ESIM、大学から薦められた海外携帯 ICHIBA を利用した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
広いマチがある洗濯ネット(溜まった洗濯を入れられ、そのまま洗濯出来る)

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーから知った。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
良好だった。意外と私がギガを使わなかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) とにかくホストファミリーと会話することが大事だと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 よかった点は先生が優しい雰囲気の人が多く相談しやすいことや自分のレベルに合わせたクラスだったため同レベルの子と英語を習うことが出来たことである。 良くなかった点としてはリスニングやライティングが出来てもスピーキング力がなければレベルの低いクラスになってしまい物足りなさを感じるかもしれないことである。
2)課外プログラムについて 高かったが、バスガイド付きでとても楽しめた。
3)現地での生活に関すること ニュージーランドでは水を節約すると聞いていたため、シャワーや洗濯の制限があると思っていたが私のホストファミリーの家では何も制限がなかったため家庭によって異なることを知った。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 日本人の他大学の学生が多かった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 放課後に観光スポット行ったり、ショッピングしたりした。特に夏ということもあって週末にはホストファミリーとビーチに行った。もし、夏に行くなら水着とサンダルを持っていくのがおすすめである。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 日本ではマイナースポーツであるネットボールをホストファミリーがしていたため、初めてこのスポーツを知ることが出来た。また、タッチという触るスタイルのラグビーのスタイルを知った。夜ご飯を食べたあと、ホストファミリーの行く小学校に行ったのが思い出である。ニュージーランドでは小学校が常に開放しており、夜でも遊べるように常に開放してあったことに驚いた。

留学体験記
研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上) 新しいことを経験することが好きな自分にとって新しいことが毎日だった留学は最高に楽しかったです。英語の自信がなくても、とにかく周りにいる友達やホストファミリーとコミュニケーションをすることが一番大切だと感じました。また、ホストファミリーからの誘いは全て受け入れなくてもいいですが、なるべく受け入れた方が新たな経験が沢山出来るため、受け入れた方がいいと思います。分からないことはどんな手段でもいいので、聞いてみるのが重要です。こちらが言わないかぎり、相手は気づかないし、自分もどうすればいいのか分からなかったこともあったので重く考えず、聞いてみることは大切だと実感しました。

研修先での休み時間の写真



サムナービーチの写真



国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	2024 年春季 短期留学個人渡航型
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	2万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	Ahamo の月額料金
現地通学費	5000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	3万 円	
被服費	1万 円	
雑費	2000 円	
その他	4万 円	例:お土産
合計	10万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 出発日に成田空港・クライストチャーチ空港で外貨両替、大きなショッピングモールで外貨両替
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 学校内など支払方法が Card のみの場所が日本よりも多い印象を受けたため、card は用意すべきだと思う。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 出発前から使っていた Ahamo を引き続き利用した。15 日を超えると速度制限がかかってしまうが Wi-Fi が普及している場所が多いため困らなかった。しかし、乗換案内などで Googlemap を使用したい場面においては不便な時もあった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 エコバッグや折り畳み傘、タッパーが役に立った。シャンプー・リンスを持参するか現地で調達するか悩んだが持参した。結果、現地の方が効果であり、留学期間も短く大きいものは不要であるため、持参でよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 ホームステイ先の家族やルームメイトから情報を収集し、治安の悪い地域には行かなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 問題なし

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

子どもと犬が大好きな私にとっては、たくさん遊ぶことができて最高の環境だった。しかし、子ども・犬が知らない間に自分の部屋に入る可能性があるため、貴重品などは管理する必要がある。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

8:30-13:00 という時間割が、放課後に観光に行くことができ 1 日を有効活用できるためよかった。
期間にもよるが日本人の生徒が 7 割ほどを占めるため、校内で日本語が飛び交ってしまっている。自分から他国の人や先生に話しかけ、コミュニケーションをとることが重要だと思う。

2)課外プログラムについて

月に2回ほど学校が任意参加の課外プログラムが実施される。個人で行くよりも安く済ませられる場合が多いためオススメである。
私もアカロア観光のプログラムに参加したが、送迎つきで、内容も大充実であった。

3)現地での生活に関すること

クライストチャーチは落ち着いた場所で、治安も良い。大きい都市ではないため、留学期間が1ヶ月でも放課後・休日を利用すると十分に観光することができる。しかし、住宅街は夜になると人通りが少なく、暗くなる。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

大学内の施設を利用することができるため、そこで現地学生と交流できる。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

テニスをしたかったためネットで検索し、民間のコートを利用しているカンタベリー大学のテニスクラブの活動に参加した。非会員でも毎回お金を払うと参加することができ、現地の大学生とテニスを通して交流できた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスに乗降する際は「hello」「Thank you」とみんなが運転手に挨拶をする。また、バスの車内アナウンスがなく、バス停の存在感が薄い場所もあるため、自分で位置を確認し降りるボタンを押す必要がある。
日本に比べると横断歩道が圧倒的に少なく、車の存在を自分で確認して横断する必要がある。最初は怖い慣れてくる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

留学は、自分の出身地にいたなら出会うことができなかった「同じ志を持つ人」と出会うことができる絶好の機会だと思います。将来が定まっている人もそうではない人もいて、私の英語学校のクラスメートは「住みたいからとりあえず来てみたけど、学校を卒業したらどうするかはわからない」と話していて驚きました。留学にかかる費用は安価でないため、簡単に決められることではありませんが、迷っているなら参加するべきだと思います。短期だとしても貴重な経験になります。
友達や団体で参加している人もいる中で、一人で新しい環境に飛び込むのは勇気がいると思います。しかし、周りの人も同じ不安を抱えています。不安なことは自分で抱え込まず、留学をめいっぱい楽しんでください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	11000 円	eSIM 代
現地通学費	6000 円	(研修先まで50分)
教養娯楽費	35000 円	スクールトリップや、友達との交際費
被服費	0 円	
雑費	12000 円	お土産代等
その他	0 円	例:
合計	104000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 成田空港内の両替所において、10000円と交換。
 その他用意したものの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 基本的にキャッシュレス決済の国なので、クレジットカード、デビットカードを使う機会が極めて多い。しかしながら、PayPay 等が使えないため、ある程度の現金(できるだけ細かいもの)の用意があると、割り勘等の状況に便利なので、現金の準備も大切。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 Holafly という会社の eSIM を使った。簡潔に言えば、何一つ不自由のない、とても優れた eSIM であったといえる。1日単位で利用日数を申請できるうえ、値段も非常に良心的で、さらにデータ無制限なので、データ制限の恐れを全く感じることなく、好きに利用できた。特に、通信が遅い等の支障を感じる機会は無かったし、設定方法もきちんと調べれば、小学生でもできる程度のものであったため、非常にお勧めできる。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 一つは、スーツケースのレンタルサービスの利用があげられる。明治大学生ならば、10%OFF の割引もある。私は、海外旅行用の大きいスーツケースを持っていなかったため、わざわざ新しいものを買うよりも、レンタルサービスの利用のほうが自分に合っていたと思う。あとは、クライストチャーチは夏でもそこまで熱くないので、半袖は最悪なくてもよいので、長袖をたくさん持っていくべき。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
 特記事項: 友達がパスポートをなくしてはいた。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
 外務省のたびれじの登録等を行った。実際被害に巻き込まれることはなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 不満を感じたことは一度もなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 **2) 部屋の形態**

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ニュージーランドは、多民族国家で、いろんな国出身の人がいる。私のホストマザーは、ウイグル人で、イスラム教信者だった。ただ、人としての礼節は万国共通だと思うので、常に感謝と節度を忘れないことが大切。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は日本の学校と同様に文法の比重が大きいので、授業のみで、英語力の大幅な向上を目指すのは難しい。クラスメートもほぼ全員、スピーキングやリスニングの時間が少ないと感じていた。ただ、先生自体は、みないいい人だし、私の場合は、あまりに最初のクラスが簡単だったので、頼んだら、クラスの変更も認めてもらえた。学生の意見を真摯に聞く姿勢はある。

2)課外プログラムについて

結構いろいろあるが、どれも気軽に手を出せる値段ではない。ただ、ニュージーランドに来る機会など、人生においてそう多くないので、週末のスクールトリップはすべて貴重でいい経験になると思う。また、平日の放課後のアクティビティも、交友関係を広げるいい機会になるだろうから、積極的に参加したほうがよい。

3)現地での生活に関すること

ニュージーランドは基本的に、日本と同様に先進国なため、そこまで困る機会はないと思う。ただ、バスは普通に10分以上遅れるので、行きの家をでる時間とかは、それをこみで考えるべき。スーパーマーケットとかは、全て午後9時には締め、コンビニとかもないので、夜にそんな娯楽はない。逆にそれが健康的な生活につながる良い機会となると思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

正直、ほぼなかった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

同じホームステイ先の学生(ルームメイト的な感じ)が、インドネシアからの留学生だが、現地の大学に進学していた。彼とは、何せ泊まる家と同じなので、英語で、現地の大学に関する情報とか話す機会がとても多くあり、非常にいい経験になった。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

一番印象に残っているのは、同じホームステイ先で泊まる学生たちと、部屋でお酒飲むながら話したこと。一人は、18歳のインドネシア出身の男子、もう一人は、26歳のウイグル自治区出身の女子、そして、私の三人が、その場にいた。三人とも、母国語は英語じゃないし、私は、インドネシア語もウイグル語もさっぱりだが、英語があればそういう人たちともある程度意思疎通がとれ、とても楽しい時間を過ごせた。英語は、英語を話す人々と繋がるツールであるが、そのみならず、母国語が異なるすべての人とつながる可能性を秘めた言語なんだと実感できた。英語をより一層学びたいと思うきっかけになった、忘れられない経験となった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

間違いなく、人生で一番有意義だった一か月になったといえる。英語を学ぶ意義を、実際に試してみることで改めて実感できたし、異文化交流もできた。普段触れることないいろいろな種類の人々と、接することができ、とても良い刺激を得られた。これまで、海外に行った事すらなく、ほぼ単一民族国家の日本にずっと住んでいたの、人種、文化、考え方、が多岐にわたるニュージーランドに行くことができて本当に良かった。逆に日本や、本学にいる留学生に人々もたくさんいると思うので、今後は、そういう人たちともっとかかわっていきたい。お金では買うことのできない、本当に貴重で有意義な経験を得られた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	
現地通学費	2,000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	40,000 円	
被服費	5,000 円	
雑費	10,000 円	
その他	0 円	例:
合計	92,000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本の食べ物やお土産

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
荷物は常に手に持つようしていた。犯罪に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Wi-Fi が通じにくい場所が多かった

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 家がとてもきれいで住みやすく食事もおいしかった。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 良かった点としてはグループでの活動が多く様々な人と楽しむことができた。 良くなかった点としては日本人が多いため日本語が聞こえてくること。
2)課外プログラムについて 課外プログラムは充実しており、ニュージーランドの観光地や有名なところを周ることができた。
3)現地での生活に関すること 物価が日本よりも高いため気を付けないと予算オーバーになってしまう点

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 日本人が多いがタイ人や中国人とも交流ができた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 英語を使い典型的な質問をしたり、写真を見せあってニュージーランドでしたことを話して交流した。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 日本とは異なりニュージーランド人は生活に焦りがなくゆったりと暮らしていると感じた。 仕事の勤務時間は日本より少なく、家族との時間を大切にしていると感じた。

留学体験記
研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上) CCCEL 内には日本人、タイ人、中国人などのアジア系の人種の方が多くいた。初めは緊張して日本人としか積極的に話しかけに行けなかったが、勇気を出して話しかけると仲良くなることができて遊びに行くような関係にもなれた。恥ずかしがらず積極的に話そうとする姿勢が大切だと実感することができた。また、日常生活において自身の英語力のなさを痛感することが多々あった。日本へ帰国後も英会話をするなどをし、英語力をあげていこうと思う。またこれから CCCEL へ留学に行く方は渡航前に英会話を行っていくことを勧める。少しでも英語での会話に慣れることで現地での会話の頻度も増えると思うからだ。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約35000 円	昼食のみ
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約10000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで およそ徒歩で10 分)
教養娯楽費	約30000 円	テカボ湖、アカロア
被服費	0 円	
雑費	約5000 円	お土産
その他	0 円	例:
合計	約80000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地での換金
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ポケット Wi-Fi

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウェットティッシュ、長袖 T シャツ

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
貴重品を常にカバンにしまっておくこと。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
インターネットを接続できる場所が多かった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
親切に対応してもらえてうれしかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語の文法を勉強した。ゲームをして英語を学ぶこともあり、楽しかった。
2)課外プログラムについて
アカロアに行くプログラムに参加した。船の上から海を泳ぐイルカを見た。
3)現地での生活に関すること
おいしいお店がたくさんあり、放課後も楽しめた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
それぞれの地元について聞いた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ご飯を食べに行き、観光をした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
遠くへの移動手段がほとんどバスのみで面白かった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

ニュージーランドで生活をしていて思ったことは、とても生活がしやすいということです。日本での生活スタイルと比べても意外と違いがないため、全く不便なく初日から生活できました。また、様々な動物や自然、おいしい料理、周りの人のやさしさに触れることで自分の考え方がニュージーランドの道路と同じくらい広がったためとてもいい経験になりました。もう一度行きたいと思ったので留学を考えている方は現地での心配を気にせず、考えてほしいと思っています。
